

Risa/Asir ドリル

- Risa/Asir の入門書 243ページ
- <http://www.math.kobe-u.ac.jp/Asir/asir-ja.html> より自由にダウンロードできる。印刷版も注文可
- 1991年(高山)、Mathematicaドリル
- 2000年(高山)、10月11日Ubasic. そのあと Asir
- 2001年(野呂) Asir
- 2002(T), 2003(N), 現在の Risa/Asirドリル
- 2004年(T), 10進Basicと8086機械語

プロジェクトの目的

- フリーブック, ただ本などの製作, 配布, 活用方法等 (ビジネスモデル) を考察する材料。
- OpenXM プロジェクトの応用としての interactive book 研究の材料。
- 数学科3年生の計算数学1の教材。
- 大学院向け集中講義などの教材。

Risa/Asirドリルの内容

- <http://www.math.kobe-u.ac.jp/Asir/index-ja.html>にある Risa/Asir ドリルを見ながら説明する。講義と演習一回分がひとつの章に対応。
- レポート問題の紹介。
- 前半は Risa/Asir を peek, poke 付き C インタープリタとして使う。メモリを意識してプログラムを書くことを強調。
- 後半は計算代数に関連する特論。

フリーブック, ただ本などの製作, 配布, 活用方法等 (ビジネスモデル) を 考察する材料。

- 本の装丁、流通、図書館への保存、さらには大学における業績評価などフリーブックのビジネスモデルは未開拓。
- Risa/Asirドリル2003、Risa/Asirドリル2005、Risa/Asirドリル北大集中講義版、ISBN?
- 印刷製本は高い
- 美しい装丁、紙面
- 宣伝
- <http://www.math.kobe-u.ac.jp/raj> (Risa/Asir Journal)

GNU フリー文書利用許諾契約書 っ て何?

- GNU フリー文書利用許諾契約書は、マニュアルや教科書、その他の文書に関して改変の有無、営利非営利を問わず複製または再頒布する自由を効果的に保証することを目的としたコピーレフトの一形態です。
-
- 改変時の条件について. A. 表紙において, 元のものとはことなる表題を用いること. 元のもの表題は ``歴史" 節にかならず含めること. もし元の文書の作者の許諾があれば同じ表題を用いてよい. B. 表紙において5名までの主たる著者の名前を必ず書く. さらに改変版の著者の名前を書く. 等等。
- **最後に:** Free document やただ本などの, 中心的概念の定義が一番大変. GNU free document の定義くらいしか本格的なものはない. Free soft や Open soft はいろいろな概念定義があり十分研究されてきているが, free document とは何か? どのように作っていくのか? その功罪は? などこれから研究していく分野だろう。
- **とりあえず, できたものを, みんなで, みせっこしましょう...**